

IPrism国際知的財産シンポジウム

コンピュータ関連発明のクレーム・明細書作成戦略： 日欧米の審査実務に即した機能的クレームの活用

本シンポジウムでは、知的財産教育の一環として、日欧米におけるコンピュータ関連発明についての最近の動向について、研究者・実務家を交えて討議します。これは、大学はもとより地域における知的財産人材教育の進展、知的財産教育を通じた地域社会との連携や社会貢献を目的とするものであります。皆様にはご参加のほどをお願い申し上げます。

日時 平成28年5月31日(火) 午後1時30分～午後5時
場所 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール(10階)
主催 大阪大学知的財産センター、大阪発明協会、日本弁理士会近畿支部
後援 経済産業省 近畿経済産業局、日本知的財産協会、大阪弁護士会(予定)
定員 100名 参加費：事前 3000円 当日 4000円 学生無料(学部院生)
事前申込締切：平成28年5月24日(火)

第1部 導入

「最新MPEP保護適格性・開示要件基準に適合する戦略的なクレーム・明細書作成方法」

竹中 俊子 氏 (ワシントン大学ロースクール教授・Seed IP Groupオブカウンセル・
大阪大学大学院高等司法研究科招へい教授)

「戦略的なクレーム作成方法-Means-Plus-Functionクレームと明瞭性記載要件」

ショウコ(雅子) Leek 氏 (SEED IP Groupパートナー・特許弁護士・ワシントン州弁護士)

「EPC・ドイツ特許法における技術的特徴及び効果—効果的な明細書作成技術」

Christian Appelt 氏 (Boehmert&Boehmert・欧州弁理士)

第2部 パネルディスカッション「日欧米の審査実務に即した機能的クレームの活用」

パネリスト

竹中 俊子 氏、ショウコ(雅子) Leek 氏、Christian Appelt 氏

立花 顕治 氏 (レクシア特許法律事務所、大阪大学知的財産センター客員教授・弁理士)

吉田 悦子 氏 (大阪大学知的財産センター特任研究員)

モデレータ

茶園 成樹 氏 (大阪大学大学院高等司法研究科教授・知的財産センター副センター長)

参加申込方法：※弁理士の方は、所属団体にお申込みください。

①以下を明記の上、IPrism事務局(下記参照)にお申込みください。

1. 氏名 2. 所属名 3. 役職(学年) 4. 所在地 5. E-mail 6. TEL 7. FAX

②申込確認メールにて、支払い詳細をご連絡致しますので、参加費を5月27日までにお振込み下さい。

なお、振込手数料はご本人様負担とさせていただきます。事前申込3000円(5月27日迄)

三菱東京UFJ銀行 茨木支店 普通 0165174 大阪大学知的財産センター

※5月28日以降または当日現金にてお支払される場合は、当日申込として会場でお支払下さい。